

自己評価結果表【タイプB】（児童養護施設）

臨海学園

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

| | | |
|-----------------------------|--------|----------------|
| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a | |

2 経営状況の把握

| | | |
|-------------------------------------|--------|----------------|
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a | |
| ② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 | a | |

3 事業計画の策定

| | | |
|---|--------|--------------------------------|
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | a | |
| ② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | a | |
| (2) 事業計画が適切に策定されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a | |
| ② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。 | b | 説明はしているが、どのくらい理解されているか確認していない。 |

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

| | | |
|---|--------|----------------------|
| (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | a | |
| ② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | b | 改善している状況を見る化する必要がある。 |

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

| | | |
|---------------------------------------|--------|----------------|
| (1) 施設長の責任が明確にされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a | |
| ② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | a | |
| (2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 | a | |
| ② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 | a | |

2 福祉人材の確保・育成

| | | |
|---|--------|--|
| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | b | 人材確保は非常に難しい状況にある。定着についても職場の魅力向上が必要である。 |
| ② 15 総合的な人事管理が行われている。 | a | |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | b | 年々改善しつつあるが、職員間のコミュニケーションに課題がある。 |

| | | |
|---|------------|---------------------------------------|
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | b | 個別目標の設定や達成期限を明確にする必要がある。 |
| ② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | b | 研修実施後の評価が出来ていない。当該研修の継続の有無を確認する必要がある。 |
| ③ 19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | a | |
| (4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a | |

3 運営の透明性の確保

| | | |
|---------------------------------------|------------|----------------|
| (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | a | |
| ② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a | |

4 地域との交流、地域貢献

| | | |
|---|------------|--|
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | b | 高萩まつりや地区社協主催のクリスマス会での交流を行っているのみとなっている。 |
| ② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | b | ボランティア受入規程で基本姿勢を定めている。 |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | b | |
| (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 26 施設が有する機能を地域に還元している。 | a | |
| ② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | b | 地域貢献に資するため、レクリエーション指導員の養成を検討している。 |

III 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

| | | |
|---|------------|-------------------------------------|
| (1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a | |
| ② 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。 | a | |
| (2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 | b | 養育方針説明書以外に視覚的にわかりやすい資料を作成する必要がある。 |
| ② 31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。 | b | 知らせるべき事項や配慮すべき事項を明文化する必要がある。 |
| ③ 32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 | b | 子どもや保護者に退所後の相談方法などを記した文書の配布が出来ていない。 |
| (3) 子どもの満足の向上に努めている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | b | 子どもの不満や要望を検討する際に、子どもが出席できる環境が必要である。 |
| (4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | a | |
| ② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。 | a | |
| ③ 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | a | |

| | | |
|---|------------|----------------------------|
| (5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | a | |
| ② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | b | マニュアルはあっても、職員間の共通理解が必要である。 |
| ③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。 | a | |

2 養育・支援の質の確保

| | | |
|---|------------|-----------------------------------|
| (1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。 | b | マニュアルはあっても、支援内容を点検する仕組みが構築されていない。 |
| ② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | b | 見直しの時期が明確になっていない。 |
| (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。 | a | |
| ② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。 | a | |
| (3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。 | a | |
| ② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | a | |

内容評価基準（41項目）A-1 子ども本位の養育・支援

| | | |
|--|------------|----------------|
| (1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。 | a | |
| ② A2 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。 | a | |
| (2) 権利についての説明 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A3 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。 | a | |
| (3) 他者の尊重 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A4 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。 | a | |
| (4) 被措置児童等虐待対応 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A5 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。 | a | |
| ② A6 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。 | a | |
| ③ A7 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。 | a | |
| (5) 思想や信教の自由の保障 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A8 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。 | a | |
| (6) こどもの意向や主体性への配慮 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A9 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されるに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。 | a | |
| ② A10 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。 | a | |

| | | |
|---|------------|------------------------------|
| (7) 主体性、自律性を尊重した日常生活 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A11 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。 | a | |
| ② A12 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。 | b | 自立に向けた取り組みが出来ていない。 |
| (8) 継続性とアフターケア | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A13 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。 | b | 自立のためのプログラムの作成が出来ていない。 |
| ② A14 できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。 | b | 児童相談所にその必要性を説明していく必要がある。 |
| ③ A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。 | b | 必要に応じて取り組んでいるが、ケアの体制が整っていない。 |

A-2 養育・支援の質の確保

| | | |
|---|------------|-------------------------------|
| (1) 養育・支援の基本 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A16 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。 | a | |
| ② A17 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。 | a | |
| ③ A18 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。 | a | |
| ④ A19 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。 | a | |
| ⑤ A20 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。 | b | |
| (2) 食生活 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A21 食事は、団らんの中でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。 | a | |
| ② A22 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。 | a | |
| ③ A23 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。 | a | |
| (3) 衣生活 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A24 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。 | a | |
| (4) 住生活 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A25 居室等施設全体がきれいに整美されている。 | b | 大規模修繕を予定しており、老朽化を我慢している部分がある。 |
| ② A26 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。 | b | 小規模化が実現していない。 |
| (5) 健康と安全 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A27 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。 | a | |
| ② A28 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。 | a | |
| (6) 性に関する教育 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A29 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。 | a | |
| (7) 自己領域の確保 | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A30 でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。 | a | |
| ② A31 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。 | b | 子どもが見たいときにいつでも見られる環境にない。 |

| | | | |
|----------------------|--|------------|--|
| (8) 行動上の問題及び問題状況への対応 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A32 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。 | a | |
| ② | A33 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。 | a | |
| ③ | A34 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。 | b | マニュアルが整備されていない。 |
| (9) 心理的ケア | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A35 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。 | b | 心理ケアに十分な時間が確保できていない。 |
| (10) 学習・進学支援、進路支援等 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A36 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。 | b | |
| ② | A37 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。 | a | |
| ③ | A38 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。 | b | 茨城県中小企業家同友会との繋がりで、今後は職場体験などを実施していく予定である。 |
| (11) 施設と家族との信頼関係づくり | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。 | a | |
| (12) 親子関係の再構築支援 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A40 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。 | a | |
| (13) スーパービジョン体制 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① | A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。 | b | |